

## 平成29年度指標に対する実績評価

### 1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標（4項目）

No.	目標指標	目標値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	達成度	目標値の設定理由
1-1	所蔵資料点数	350,000点	313,607点	310,887点	311,721点	89%	予算の範囲において、効率的な選書を行い、所蔵資料数増を目指す。
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書購入について検討、良質な図書の収集に努めた。しかし、中央図書館の所蔵スペースには限りがあることもあり、所蔵資料数は目標に達しなかった。所蔵資料点数を増やすことは、現状の施設では難しく、今後の課題である。						
1-2	個人貸出図書冊数	850,000冊	857,604冊	850,885冊	840,248冊	99%	幅広い年齢層を意識して利用の促進を図り、目標冊数を目指す。
評価	ここ数年20代、30代の利用者が減少している状況である。また、平成29年度は図書館システム更新に伴い閉館日数が減ったこともあり、目標を達成することができなかった。図書館利用について市民への情報発信とより利用しやすい図書館づくりを目指したい。						
1-3	団体貸出図書冊数	15,000冊	9,857冊	10,582冊	9,704冊	65%	学校や公共機関等への団体貸出しを促進し、読書推進活動の向上を目指す。
評価	団体貸出については目標の3分の2程度の貸出数となった。読書活動推進のため、広報活動等を通じて登録団体を増やしていくことが重要と考えるが、登録団体が団体貸出を利用しやすい環境を整えることも課題である。						
1-4	貸出視聴覚資料点数	120,000点	84,060点	78,063点	69,311点	58%	供給数が限られているため、資料の厳選に努め、効率的な貸出しを目指す。
評価	視聴覚資料の貸出は、インターネット等の普及もあり、年々減少しており、目標を達成することはできなかった。1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況等を踏まえながら資料の厳選に努め、資料の充実と有効活用を図っていきたい。						

### 2 市全体へのサービスに関する指標（7項目）

No.	目標指標	目標値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	達成度	目標値の設定理由
2-1	図書館情報紙の発行回数	5回	4回	4回	4回	80%	図書館からの情報を積極的に発信する。
評価	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」をそれぞれ2回発行した。紙面の内容の充実を図り、利用者には好評であった。しかし、紙面の作成は職員の負担も大きいため、「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」の発行回数を増やすことは困難な状況であった。今後、簡易な内容の情報紙の発行を検討するとともに広報紙の活用や他情報紙等への情報提供を積極的に行うことで、情報発信の充実を図りたい。						
2-2	返却窓口の返却冊数	110,000冊	83,613冊	107,689冊	111,528冊	101%	返却窓口を増やすなどの検討しながら利便性の向上に努める。
評価	返却窓口の利用は年々増加しており、目標を達成した。平成29年度はブックポスト等の回収回数を増加するなどして、図書館サービスの充実を図った。今後も利用の増加が見込まれるため、回収回数を増やすことで迅速な貸出につなげ、サービスの向上を図りたい。新たな返却窓口の設置は課題である。						
2-3	図書館ホームページへのアクセス件数	300,000回	354,674回	361,397回	369,210回	123%	図書館ホームページの内容充実を図り、利便性の向上を目指す。
評価	インターネット等の普及によってホームページから情報を得る利用者が増えており、目標を超えるアクセス件数となった。情報を得る手段とし、今後さらにホームページの利用が見込まれることから、分かりやすい情報提供と積極的な活用で、図書館の利用増を図りたい。						
2-4	年間開館日数	287日	285日	287日	280日	98%	年間の開館日数を増やし、図書館利用の促進を図る。
評価	平成28年度は目標達成できたが、平成29年度は図書館システム更新に伴う長期休館をしたことで、目標を達成することができなかった。図書館システム更新時に蔵書点検を行うなどして前回のシステム更新時よりは開館日数の確保に努めた。						
2-5	年間開館時間	2,508時間	2,481.5時間	2,502.5時間	2,446時間	98%	開館日数増に比例して年間の開館時間を増やし、利用促進と利便性向上に努める。
評価	平成29年度は図書館システム更新に伴う休館をしたこともあり、目標を達成できなかった。開館時間延長を検討するため、10月～11月の6日間、午後9時まで開館時間延長を試行した。その利用状況や市民要望等も踏まえ、平成30年度は土・日曜日も午後7時まで開館時間を延長することとした。						
2-6	新規登録者数	6,500人	6,192人	6,101人	5,939人	91%	転入者等や図書館未利用者に対してPRに努め、図書館利用者を増やす。
評価	自動車図書館のステーションとなる小学校の新一年生に対して学校を通じて図書館利用カードを発行するなどして、登録者数の増を図ったが、目標には至らなかった。図書館利用についての情報発信を積極的に行い、登録者並びに図書館利用者の増を図りたい。						
2-7	来館者数	580,000人	555,189人	548,777人	514,588人	87%	減少傾向にあるため、来館者増を目指す。
評価	平成29年度は図書館システム更新に伴う休館をしたこともあり、目標を達成することができなかった。平成30年度は土・日曜日も午後7時まで開館することとしており、より利用しやすい図書館を目指したい。						

### 3 障害を持った方及び外国の方へのサービスに関する指標（5項目）

No.	目標指標	目標値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	達成度	目標値の設定理由
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,100冊	1,753冊	1,809冊	1,894冊	90%	出版数が限られているので、計画的な蔵書に努め、目標数を目指す。
評価	計画的に購入を行って所蔵数を増やしてきたが、目標値には至らなかった。高齢者が増えていることから、今後も計画的に蔵書に努めたい。						
3-2	大活字本の貸出冊数	1,800冊	2,538冊	2,202冊	1,533冊	85%	大活字本コーナーの表示やPR等に努め、利用促進に努める。
評価	資料の充実を図るとともに、大活字本について周知をすることで読書活動の推進に努めたい。大活字本は持ち運ぶには重さもあるため、館内利用についても周知を図りたい。						
3-3	外国語資料の所蔵点数	12,000冊	10,116冊	10,246冊	9,992冊	83%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を目指す。
評価	平成29年度は所蔵資料の整理を行ったこともあり、所蔵点数が減少することとなった。外国語資料の購入予算を増やしたり、寄贈を積極的に受け入れたりすることで、所蔵点数の増を図っていききたい。						
3-4	外国語資料の貸出冊数	8,000冊	7,578冊	8,328冊	7,054冊	88%	外国語資料コーナーの配架や掲示等の充実にも努め、利用促進を図る。
評価	平成29年度は開館日数が減ったこともあり、貸出点数が減少した。所蔵点数を増やすなど資料の充実を図るとともに情報発信に努めたい。						
3-5	点字資料の所蔵点数	230点	208点	214点	213点	93%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を目指す。
評価	点訳ボランティアによる点字資料の作成が行われているが、資料の増には至らなかった。点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに計画的に点字資料を購入することで、サービスの充実を図りたい。						

### 4 地域支援サービスに関する指標（4項目）

No.	目標指標	目標値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	達成度	目標値の設定理由
4-1	自動車図書館利用人数	15,000人	11,312人	12,022人	11,016人	73%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実を図り、利用者数増を目指す。
評価	2台の自動車図書館で48か所のステーションを2週間に一度の割合で巡回しているが、利用人数の少ないステーションや雨天による運行中止（平成29年度は162日運行、13日運行中止）もあり、目標には達しなかった。市民の生活圏が広域なつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、ステーションの見直しや情報発信を積極的に行うことで、有効活用を図りたい。						
4-2	自動車図書館貸出冊数	55,000冊	43,254冊	47,889冊	44,860冊	82%	自動車図書館資料の充実にも努め、貸出冊数の増を目指す。
評価	平成29年度の貸出冊数は前年度と比べて減少となり、目標を達成することができなかった。自動車図書館の利用状況を反映させた図書の購入を行うなど資料の充実を図るとともに、ステーションの見直しを行うことで、自動車図書館の有効活用を図りたい。						
4-3	自動車図書館予約受付件数	300件	149件	183件	146件	49%	自動車図書館利用を促進し、効率的な予約処理に努める。
評価	自動車図書館のステーションは小学校や保育所が多いこともあり、予約受付件数の増には至らなかった。インターネットによる予約が増えている中で、2週間に一度の割合で巡回する自動車図書館での予約受付件数を増やすことは課題である。自動車図書館の利用について周知を図りたい。						
4-4	相互貸借冊(点)数	2,400点	2,233点	2,360点	2,048点	85%	他の図書館と連携して、市民に様々な資料提供についてPRし、幅広い資料提供を図り、貸出し数増を目指す。
評価	図書館システム更新で休館中には相互貸借も行っていなかったこともあり、前年度と比べても利用件数は減少し、目標を達成することができなかった。つくば市民の相互貸借の利用は多いことから、制度を活用して利用者の求める資料を提供することで、サービス向上を図りたい。						

5 課題解決支援, 利用者の情報活用能力に関する指標 (3項目)

No.	目標指標	目標値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	達成度	目標値の設定理由
5-1	地域支援事業等参加定員に対する参加者割合	105%	85%	89%	94%	90%	図書館が積極的に市民向けの図書館講座等を開催し、図書館に関する関心を高め読書推進活動の向上を目指す。
評価	図書館事業の「わくわくランド」及び「ファーストブック講座」の参加者割合を指標としているが、ファーストブック講座は定員を超えていたことから平成27年度から2回講演としたこともあり、結果として参加者割合は目標に達しなかった。しかし、延参加者数は増えているため、読書活動の推進のためにも継続して実施していきたい。						
5-2	レファレンス受付件数	1,700件	1,739件	1,794件	1,630件	96%	レファレンス能力の向上とPRIに努め目標件数を目指す。
評価	平成29年度は開館日数の減少もあり、目標には達しなかった。一人による複数の相談や高度な内容の相談も増えており、研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図り、図書館サービスの充実に努めたい。						
5-3	予約件数	74,000件	84,394件	88,378件	89,313件	121%	図書館窓口のほか図書館ホームページやインターネット登録の充実に図り、円滑な予約の推進に努める。
評価	パソコンやスマートフォン、携帯電話等の普及により、インターネットから簡単に予約ができるため、年々増加しており、目標を大きく上回った。今後、益々増加することが見込まれるが、予約棚の確保とともに本を確保して準備をする職員の業務量の増、予約本を4交流センター図書室等の受け取り希望場所への迅速な配送と回収など、予約件数増に伴う課題もあるため、予約件数増を見込んだサービス提供の充実が求められる。						

6 学校図書館支援に関する指標 (5項目)

No.	目標指標	目標値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	達成度	目標値の設定理由
6-1	ブックトーク事業参加校数	44校	45校	46校	41校	93%	学校への積極的なPRを行い、実施校数の増を目指す。
評価	平成29年度は申込みをされない学校もあり、目標には達しなかった。しかし、3か年平均の参加校数は44校と目標値と同数となり、学校との連携を図り、児童・生徒の読書推進に図書館として協力できたと考えます。						
6-2	職場体験学習受入人数	25人	21人	39人	30人	120%	図書館の受入体制の拡充に努め、受入人数増を目指す。
評価	中学2年生(義務教育学校8年生)を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。平成28年度からは受入体制を拡充して受入日数を増やし、より多くの生徒の受入を可能としたことで目標を達成した。図書館の利用者数が増える夏休み期間の受入については、職員のスケジュール調整が課題である。						
6-3	学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数	87人	85人	86人	89人	102%	司書教諭や司書教諭補助員のスキル向上を図るため、有意義で魅力的な研修を実施し、参加者数増を目指す。
評価	年度初めに実施される司書教諭・司書教諭補助員等の全体研修会の参加人数であり、目標値に達した。この他にも1回の研修にも職員が講師として参加しており、その参加者も含めると目標の約2倍の参加人数となっている。今後も、研修を実施している教育指導課及び学校と連携して、司書教諭・司書教諭補助員のスキルの向上を支援し、児童・生徒の読書推進を図りたい。						
6-4	社会科見学受入学校数	10校	10校	6校	6校	60%	図書館の受入体制の拡充に努め、受入人数増を目指す。
評価	市内の小学校、義務教育学校、特別支援学校等の受入学校数。随時受入は行っているが、申込みが少なかったこともあり、目標達成には至らなかった。希望があった場合には、スケジュール調整を行い、積極的に受入をすることで読書推進を図りたい。						
6-5	ジュニア図書館員受入人数	70人	25人	45人	87人	124%	図書館の受入体制の拡充に努め、受入人数増を目指す。
評価	5年生、6年生を対象に図書館の業務を体験してもらう事業。平成28年度からは4年生からを対象として実施。平成29年度は受入体制を拡充し、募集時期と回数を増やして実施したことで、目標を達成することができた。						

7 市民満足度に関する指標 (1項目)

No.	目標指標	目標値	H27年度実績値	H28年度実績値	H29年度実績値	達成度	目標値の設定理由
7-1	利用満足度調査の満足度	80%以上	83%	85%	83%	104%	図書館利用者の満足度を把握し、将来の図書館運営の向上を目指す。
評価	年度末の3月に図書館内で利用者に対して実施した満足度調査の結果、「満足」と「やや満足」と回答した方の合計割合は3年間とも目標を達成することができた。今後も、より利用しやすい図書館を目指して図書館サービスの充実に努めたい。						